



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場会社名 協同飼料株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2052 URL <http://www.kyodo-shiryo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 弦巻恒三  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 青山 徹 (TEL) 045-461-5711  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	67,602	12.3	12	△97.4	△105	—	△279	—
25年3月期第2四半期	60,201	△7.1	499	△49.2	466	△50.6	101	△58.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △172百万円(—%) 25年3月期第2四半期 △75百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△2.83	—
25年3月期第2四半期	1.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	49,366	12,362	25.0
25年3月期	51,021	12,832	25.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 12,358百万円 25年3月期 12,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	3.00	3.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	139,000	9.2	700	△53.9	600	△62.0	200	△73.4	2.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	103,995,636株	25年3月期	103,995,636株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	5,202,458株	25年3月期	5,202,303株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	98,793,289株	25年3月期2Q	98,794,886株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）のわが国経済は、円安・株高傾向に伴い一部で景気回復の兆しがみられ、実体経済にも徐々に波及しております。

飼料畜産業界におきましては、主原料であるとうもろこし相場は米国の作付面積の増加や良好な天候により値を下げた反面、大豆相場は大きく値を上げております。

なお、外国為替相場は円安傾向が継続しており、海上運賃は高水準で推移しております。

畜産物につきましては、牛肉相場、豚肉相場、鶏卵相場ともに前年同期を上回っております。

こうした環境にあつて、配合飼料価格の値上げ等により当社グループの売上高は、676億2百万円（前年同期比12.3%増）となりましたが、原材料費の上昇や配合飼料価格安定基金の財源不足に伴う負担の増加及び畜産物価格相場上昇による仕入原価高などにより1千2百万円の営業利益（前年同期比97.4%減）となり、経常損失は1億5百万円（前年同期は4億6千6百万円の経常利益）となりました。また四半期純損失も2億7千9百万円（前年同期は1億1百万円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績を示すと次のとおりです。

## 飼料事業

飼料事業では、販売数量が若干減少したものの配合飼料販売価格の値上げ等により売上高は476億9千万円（前年同期比14.1%増）となりました。営業利益は畜産用飼料では前年同期並みで推移したものの、水産用飼料が原材料費上昇分の価格転嫁に時間を要したことなどにより9億1千1百万円（前年同期比13.8%減）となりました。

## 畜産物事業

畜産物事業では、売上高は199億1千2百万円（前年同期比8.2%増）となったものの、畜産物相場が上昇基調で推移し仕入れコストが大幅に増加したため、2億9千2百万円の営業損失（前年同期は2千5百万円の営業利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態を前期末と比べますと、棚卸資産の減少などにより、資産合計は493億6千6百万円（前期末比3.2%減）となり、16億5千4百万円減少しました。負債合計は、支払手形及び買掛金が減少したことなどにより、370億4百万円（前期末比3.1%減）となり、11億8千4百万円減少しました。

また、純資産合計は配当金の支払いによる利益剰余金の減少などから123億6千2百万円（前期末比3.7%減）となり、4億7千万円減少しました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少37億2千3百万円などにより、17億1千8百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得3億6千6百万円などにより、3億6千3百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加22億5千8百万円などにより、19億3千2百万円の収入となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は15億2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想は平成25年10月25日に公表したとおりです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、税金等調整前四半期純損失となった場合等には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,695	1,545
受取手形及び売掛金	22,657	22,169
商品及び製品	654	724
仕掛品	592	622
原材料及び貯蔵品	5,056	4,055
繰延税金資産	54	100
短期貸付金	211	240
その他	1,633	1,690
貸倒引当金	△35	△27
流動資産合計	32,519	31,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,816	2,745
機械装置及び運搬具(純額)	2,341	2,422
土地	3,796	3,602
建設仮勘定	23	26
その他(純額)	390	402
有形固定資産合計	9,368	9,199
無形固定資産		
その他	763	708
無形固定資産合計	763	708
投資その他の資産		
投資有価証券	5,212	5,312
長期貸付金	1,356	1,282
長期未収入金	1,393	1,345
破産更生債権等	478	487
繰延税金資産	1,982	1,974
その他	586	573
貸倒引当金	△2,640	△2,638
投資その他の資産合計	8,370	8,337
固定資産合計	18,502	18,245
資産合計	51,021	49,366

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,709	10,986
短期借入金	8,145	9,788
未払法人税等	171	112
賞与引当金	331	328
その他	2,956	3,301
流動負債合計	26,313	24,516
固定負債		
長期借入金	9,985	10,600
退職給付引当金	1,311	1,325
役員退職慰労引当金	150	134
資産除去債務	273	274
その他	155	154
固定負債合計	11,875	12,487
負債合計	38,189	37,004
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,199	5,199
資本剰余金	4,749	4,749
利益剰余金	2,847	2,270
自己株式	△524	△524
株主資本合計	12,272	11,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	401	479
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	153	183
その他の包括利益累計額合計	555	662
少数株主持分	4	3
純資産合計	12,832	12,362
負債純資産合計	51,021	49,366

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	60,201	67,602
売上原価	53,720	61,621
売上総利益	6,481	5,981
販売費及び一般管理費	5,982	5,968
営業利益	499	12
営業外収益		
受取利息及び配当金	52	50
その他	187	145
営業外収益合計	240	195
営業外費用		
支払利息	132	129
持分法による投資損失	54	100
その他	86	83
営業外費用合計	273	313
経常利益又は経常損失(△)	466	△105
特別利益		
固定資産処分益	8	—
特別利益合計	8	—
特別損失		
固定資産処分損	—	8
固定資産評価損	158	178
特別損失合計	158	186
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	315	△292
法人税等	213	△12
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	101	△280
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	101	△279



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	101	△280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△175	59
繰延ヘッジ損益	△3	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	1	48
その他の包括利益合計	△177	107
四半期包括利益	△75	△172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△76	△172
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	315	△292
減価償却費	413	449
引当金の増減額(△は減少)	260	△15
持分法による投資損益(△は益)	54	100
売上債権の増減額(△は増加)	△572	471
たな卸資産の増減額(△は増加)	641	900
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,077	△3,723
法人税等の支払額	△146	△114
その他	175	504
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>65</b>	<b>△1,718</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△0
有形及び無形固定資産の取得による支出	△317	△366
有形及び無形固定資産の売却による収入	94	18
投資有価証券の取得による支出	△44	△65
投資有価証券の売却による収入	—	0
短期貸付金の純増減額(△は増加)	0	0
長期貸付けによる支出	△4	△4
長期貸付金の回収による収入	71	54
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△199</b>	<b>△363</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100	1,270
長期借入れによる収入	2,450	2,600
長期借入金の返済による支出	△1,540	△1,611
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△297	△296
その他	△26	△29
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>486</b>	<b>1,932</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	353	△149
現金及び現金同等物の期首残高	1,416	1,652
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,769	1,502

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	飼料事業	畜産物事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,792	18,409	60,201	—	60,201
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30	—	30	△30	—
計	41,822	18,409	60,232	△30	60,201
セグメント利益	1,057	25	1,082	△583	499

(注) 1 セグメント利益の調整額△583百万円には、セグメント間の取引消去0百万円及び配賦不能営業費用△583百万円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、連結財務諸表提出会社の本社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、従来定率法を採用していた有形固定資産の減価償却の方法を定額法に変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の飼料事業セグメント利益が77百万円増加し、畜産物セグメント利益が8百万円増加しております。また、「調整額」に含まれる各報告セグメントに配分していない全社費用が3百万円減少しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	飼料事業	畜産物事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	47,690	19,912	67,602	—	67,602
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31	—	31	△31	—
計	47,722	19,912	67,634	△31	67,602
セグメント利益又は セグメント損失(△)	911	△292	618	△605	12

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△605百万円には、セグメント間の取引消去1百万円及び配賦不能営業費用△607百万円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、連結財務諸表提出会社の本社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。